

◇文化芸術賞◇

のむら しゅんこう はるみ
野村春光 (春美) [書道] (74歳) 福井市

50年間にわたり書道研究に励み、県内外の書道展で受賞を重ねてきた。現在、毎日書道展審査会員・日本書道美術院展の審査委員等を努め、日本墨書会副会長として後進の指導に当たり、書道文化に貢献し、福井市・福井書人連盟・福井県書作家協会から顕彰されている。

つちもと しゅうけい のぶひろ
土本脩啓 (修啓) [書道] (72歳) 福井市

昭和53年に若越書道会同人、評議員、理事となり、県書作家協会、書玄会代表理事を務め、第28回日展入選。現在、県展、県美、市美、書法展の審査を歴任し、書の会員をはじめ、地域の大人から子供たちへ、調和体や篆刻など幅広い書の普及と指導に尽力している。

やまだ らんせき のりお
山田蘭石 (典生) [書道] (66歳) 越前市

中央書壇では、謙慎書道会常任理事、読売書法会理事、日展会友。県内では、若越書道会副会長をはじめ、県書道教育研究会、研友社、木曜会の要職に就いている。2004年県文協ふくい県民文化芸術賞を受賞。現在、高校、大学の書道講師として後進の指導に尽力している。

いとう ひでお
伊藤秀雄 [俳句] (89歳) 福井市

福井県俳句作家協会参与、俳人協会会員、詩歌文学館評議員、永平寺「傘松」俳句選者、公民館俳句会の実作指導と普及、向上に務める。福井県文学コンクール第16回、20回知事賞。句集「磯住み」「仏舞」。「自註現代俳句シリーズ・13期/伊藤秀雄集(俳句協会)

◇地域文化功労賞◇

おおにし しゅうほ ふみよ
大西 秋甫 (二美代) [書道] (70歳) 坂井市

昭和48年日本墨書会に入門。書道展に出品入賞を経て審査員になり、福井、坂井市に書道教室を開き地域の書写向上に努める。大石コミュニティセンターにおいては長年地域の文化交流に生徒の作品を発表している。現在、日本墨書会総務。読売書法展理事。

たなか てつお
田中 哲夫 [俳句] (92歳) 福井市

昭和50年、麻生津俳句の入会。「青玄」へ入会。同人となるも、「青玄」終刊となり、雪炎俳句会設立と共に入会。平成4年、現代俳句協会に入会。永年在籍会員30年表彰を受賞。雪炎俳句会会長として、会の運営、講師と指導に当る。現在雪炎俳句会名誉顧問、講師。

いしたに けいこ きぬえ
石谷 恵子 (絹枝) [川柳] (83歳) あわら市

金津番傘川柳会会長 番傘ばんば川柳社副会長 番傘本社同人
あわら市文化協議会常任委員 福井カルチャー、ベルカルチャー講師
あわら市公民館運営委員 金津番傘主催「蓮如の里川柳大会」
開催 全日本川柳協会大会特選(4回) 県内外川柳大会大賞など(11回)

さばえしかどうれんめい ほそい ほうずい れいこ
鯖江市華道連盟 代表 細井 芳瑞 (玲子) [華道] 鯖江市

昭和52年に5流派(池坊、文房流、草月流、小原流、MOA山月)にて発足。以来、47年間にわたり華道の普及活動に努める。鯖江市華道連盟合同花展をはじめ市行事、文協行事など多くに参加し地域社会との交流を長年続けている。

はら みのる
原 稔 [俳句] (86歳) 若狭町

五湖俳句会会長、若狭町俳句連盟理事・同会長を歴任。現在、五湖俳句会顧問として、月1回の「初心者俳句教室」並びに五湖俳句会で指導し後進の育成に努めている。若狭町俳句大会町長賞2回、福井県俳句大会知事賞2回受賞。

◇県民文化祭芸術賞◇

ささき ひろこ
佐々木弘子〔日本画〕（84歳） 越前町

平成10年町文協すみれ会（日本画）に入会。岩佐れい子先生の師事のもと、週1回制作。作品は県美展、町文化祭他に出展。この福井にこれからも日本画を描く人が増え発展していく事を願い、今日迄続ける。

ふくだ けいげつ あけみ
福田径月（明美）〔書道〕（72歳） 越前市

中央展や県内展に意欲的に出品し、毎日書道展、独立書展、県現代書作家展などで入賞。現在は、独立書人団準会員、県書作家協会推薦参事、若越書道会参与、洗心書道会常任理事などの要職を務め、後進の指導育成にも尽力。今年度は、福井県書壇功績賞を受賞。

つちだ きんせん ひろみ
土田堇仙（博美）〔書道〕（62歳） 福井市

平成13年に若越書道会同人に合格。業務運営部員として長年業務にあたり、現在は出版部長を務めている。県内・中央の書道展に積極的に出品し、入賞、入選を果たしている。新書派協会会員、県書作家協会会員、書玄会理事。福井書人連盟では、審査員を務めている。

かつた ようこ
勝田葉子〔邦楽・箏〕（73歳） 福井市

小中学校で和楽器体験。童話「わらしべ王子」読み聞かせで胡弓演奏。能楽堂で錦秋の邦楽演奏会開催。新春能舞台初めで箏演奏。県民総合文化祭で福井の各地を巡る曲、組曲「福井」の演奏に携わる。福井県三曲協会副理事長、福井新聞文化センター講師、胡桃の会主宰

ふじま きみこう
藤間勢美公〔日本舞踊〕（46歳） 坂井市

5歳より日本舞踊の道を志し、藤間勢美三に師事。藤間流一筋に技芸の研鑽に努め、芸歴は40年以上におよぶ。県内外での舞台経験も豊富で県民文化祭でも数々好演。また、主幹保育教諭として、子供達の情操教育に日舞の礼儀作法などを活かす努力を続けてきた。

◇県文協奨励賞◇

はしづめ せいれん じゅんこ
橋 詰 青 蓮 (淳子) [書道] (64 歳) 福井市

勤労婦人センターにて、書道を受講以来、池尾青竹先生の指導を受ける。現在、日本墨書会総務。中央書道展に長年出品し、読売書法展評議員、日本書芸院一科審査会員。県内書壇においては、県書作家協会推薦参事、書人連盟常任理事として、展覧会運営に携わる。

ふかがわ あつこ
深 川 淳 子 [書道] (61 歳) 鯖江市

平成27年より洗心書道会、福井県独立書人団に入会、令和4年若越書道会同人、令和5年から県書作家協会会員。全国展では、独立選抜書展に令和2年から出品、超難関を令和6年まで毎年連続で選抜される等、県内でも数多くの賞を受賞、勢いのある作風で大いに期待される。

ふくしま じゅせん ちづこ
福 嶋 寿 仙 (千津子) [書道] (80 歳) 鯖江市

平成26年若越書道会同人合格と同時に月例作品審査員となる。その後、書玄会理事、福井書人連盟二科審査会員、新書派協会依頼会員として現在に至る。シルバー福井美術展福井県知事賞、県書道展福井市賞、若越書道会展準大賞、中央では読売書法展入選などを受賞。

あおき こうえい きいちろう
青 木 鴻 叡 (喜一郎) [書道] (53 歳) 福井市

研友社発足にあたり評議員として参加。県書作家協会推薦参事を務め、明清から唐まで幅広く学書しながら意欲的に作品を発表している。中央では、読売新聞社賞や日展入選を重ね、読売書法会理事、謙慎書道会理事、玄筆会常任理事として書壇の発展に貢献している。

きねや やとか いがらし ゆきえ
杵屋弥登香 (五十嵐 幸枝) [邦楽・長唄] (62 歳) 鯖江市

平成28年長唄杵屋弥登悠に師事。これまで学んだ箏曲、津軽三味線を礎に、師匠のもと伝承文化を継承しつつ現代曲にも挑み、邦楽の普及に努めている。ハーモニー文化フェス2024・ハーモニーサブフェスに出演。